

# 油断大敵

## 次の地震に備える

問い合わせ先

防災交通課

☎0968(25)7203

「大きな地震はもうしばらくは起こらないだろう」と思っていますか。熊本地震から約半年。余震や報道の回数が減り、防災への関心も薄れつつあります。

政府の地震調査委員会は以前、熊本地震が発生した断層の地震発生確率を「30年以内に最大0・9%」と見積もっていました。この確率を見てあなたはどう感じますか。

予測されても、いつどこで起こるのかわからないのが地震。熊本地震の経験を生かし、次の地震に備えることが、命を守る第一歩です。

### 南海トラフ地震 30年以内に70% の確率で発生

マグニチュード8.9が  
高確率で起こると予想

予想されています。

訓練で万が一に備える

熊本地震では、本市で最大震度6強（マグニチュード7.3）の激しい揺れに襲われました。現在、地震活動は収まってきていますが、当分の間は現状程度の活動が続く見込みで引き続き注意が必要です。

私たちが備えるべき地震の一つに「南海トラフ地震」があります。南海トラフは日本列島が位置するユーラシアプレートの下に、フィリピン海プレートが沈み込んでいる場所にあり（次ページ参照）。

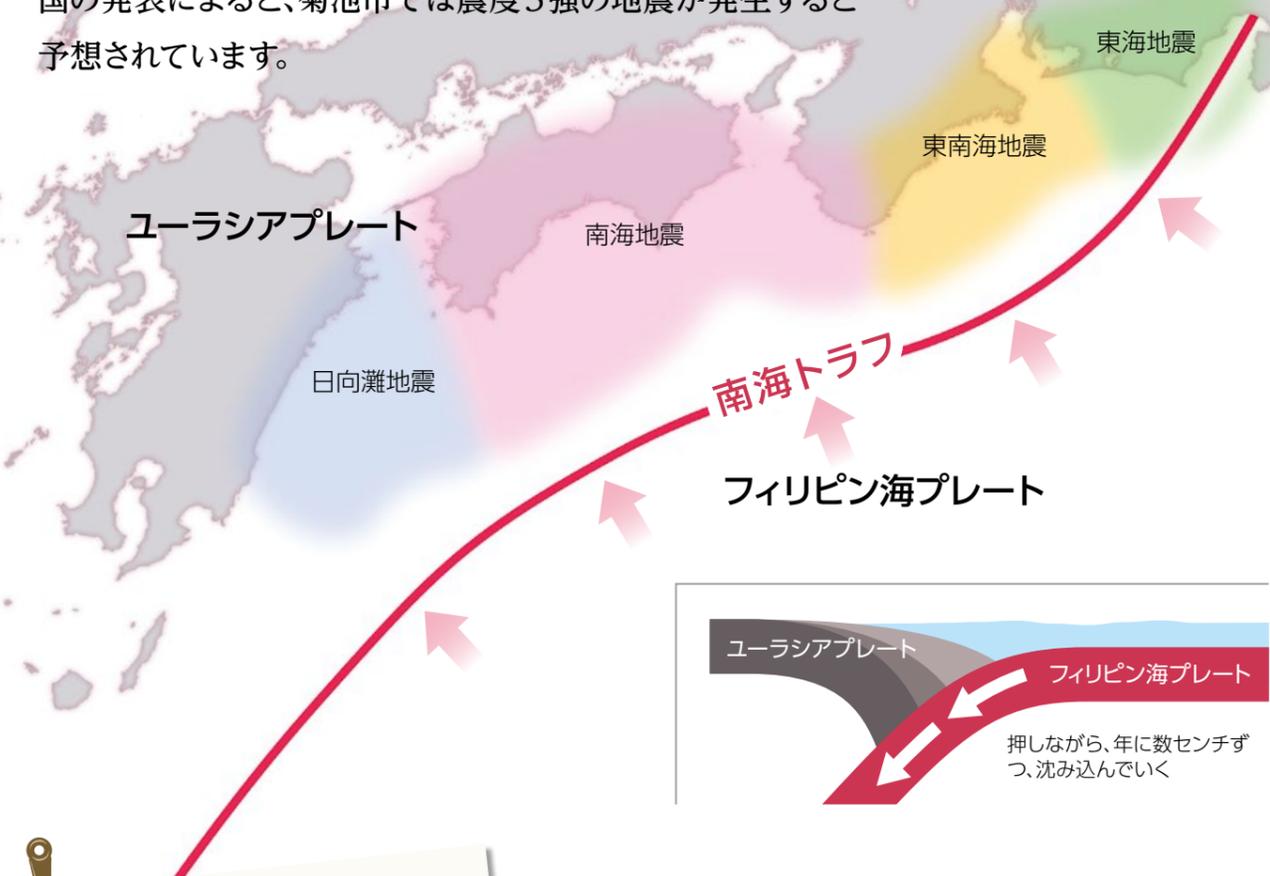
南海トラフでは、沈み込みにより蓄積されたひずみを解放するときに起こる大地震が、100〜200年の間隔で発生しています。地震調査研究推進本部によると、30年以内に70%程度の確率でマグニチュード8〜9クラスの地震が発生すると

気象庁は、強い揺れを予想した場合「緊急地震速報」を発表します。南海トラフ地震は太平洋海域で起こるため、緊急地震速報を見聞きして強い揺れが来るまで、数十秒程度の猶予があると考えられます。屋内では頭を守り、丈夫な机の下など安全な場所に避難する、あわてて外へ飛び出さないなど、落ち着いて身の安全を確保してください。屋外ではブロック塀の倒壊、看板やガラスなどの落下に注意してください。

日頃からの訓練も重要です。家庭や地域、学校、職場などで緊急地震速報を見聞きした場合や地震の発生時、実際に身の安全を確保するための行動ができるか訓練し、確認しておきましょう。

## 南海トラフ地震の予測範囲

国の発表によると、菊池市では震度5強の地震が発生すると予想されています。



### 発災から1時間で全区民の安否を確認

#### 地域の人材を活用

藤田区では、平成26年度に自主防災会を立ち上げ、年に1回防災訓練を実施しています。会員は区の組織を基本とし、警察や自衛隊、消防団OB、看護師資格者など緊急時のノウハウを持つ人も加えています。高齢でも元気な人には、班長などと一緒に安否確認に回ってもらいました。3月に行った避難訓練には100人以上が参加し、避難手順などを確認。その1カ月後に熊本地震が発生しました。

#### 成果を発揮、負担も軽減

夜中の地震にも関わらず、発生からおよそ1時間で全区民の



3月に実施した避難訓練。消防署も指導に駆け付けました

#### 住民同士の交流が鍵

自主防災会の活動を円滑に進める上で最も大切なのは、住民同士の交流です。藤田区では夏祭りを実施しており、ほとんどの住民が参加して親睦を深めています。こうした交流が助け合いの精神につながっているのだと思います。他の区でも祭りやミニバレー大会など、住民が交流する機会を大事にしてほしいですね。



藤田区自主防災会長  
岩木精四郎さん

### 事例① 藤田区自主防災会